



STANDARD 特定小電力トランシーバー FTH-80 取扱説明書

47チャンネル

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

このトランシーバーは国内専用モデルです。海外では使用できません。

製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

株式会社パナテックススタンダード
国内営業部
〒153-8644 東京都目黒区中目黒 4-8-8
電話：03-3719-2231

株式会社パナテックススタンダード 〒153-8644 東京都目黒区中目黒 4-8-8

© 2011 VERTEX STANDARD CO., LTD. All rights reserved.



付属品

ベルトクリップ(取付け用ビスも含む).....	1
アルカリ単3乾電池ケース.....	1
取扱説明書(本書).....	1
安全上のご注意.....	1
保証書.....	1

お客様へ

●防水(防滴)について

外部マイク接続時は防水にはなりません。外部マイク接続時に雨天等でご利用になる場合は、外部マイクのケーブルを伝わってトランシーバー内部に水が入らないようご注意ください。故障の原因となります。

本機の防水性能を永らく確保していただくために、必ずご使用前に下記の下記の項目をご確認ください。

- キズ、劣化、外れ、汚れなどの確認
- ボタンやスイッチ類のラバー
- MICジャック、SPジャックのキャップ
- 電池ケースの防水パッキン

お手入れのしかた

水、砂、砂などがついたときは、柔らかいきれいな布で拭きとってください。必ずMICジャック、SPジャックのキャップと、電池ケースを確実に閉めた状態で拭きとってください。

オーバーホールのお奨め

お買い上げから1年経過した後、またはキズ、劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めします。また、オーバーホール後も定期的なメンテナンスをお奨めします。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご通知ください。

●フタサービス

●保証期間はお買い上げの日より1年です。
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から1年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。

過失など、故障内容によっては、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。

●保証書は大切に保管してください。
保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものととして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。
また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入されていない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店へ「お買い上げ年月日等が正しく記入されていること」をご確認のうえ、大切に保管してください。

故障かな?と思ったら・・・

間違った操作をしていませんか?
修理を依頼される前に、ちょっとお確力のください。

- **電源が入らない!**
 - 電池は正しく取り付けられていますか?
 - 電池は漏洩していませんか?
- **送信できない!**
 - PTT(送信ボタン)を正しく押していますか?
 - 受信専用モードがONになっていませんか?
 - 相手が発信中ではありませんか?
 - 音量を受信しているときは、遠慮できませんか?
 - 外部マイク使用の場合、きちんと最後まで差し込まれていますか?
- **通話できない!**
 - 相手と同じ通話モード(ノーマルモード・グループモード)に設定していますか?
 - 相手と同じチャンネルに設定していますか?
 - 相手と同じグループ番号(またはDCSコード)に設定していますか?
 - プライバシーモードの場合、送信側・受信側ともプライバシーモードの設定がされていますか?
 - 相手の距離が離れすぎていませんか?
- **こちらの声が、相手側で小さく聞こえる!**
 - マイクホンを蓋いでいませんか?
 - マイクから口元が離れていませんか?
 - 音量は適正ですか?
- **勝手に電源が切れる!**
 - オートパワーセーブ機能が設定されていますか?
 - 電池が消耗していませんか?
- **グループモードで通話中に他の人の通話が聞こえる!**
 - モニター機能になっていませんか?
 - 電源ボタンを長押し(約1秒)して電源を切り、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れますと解除されます。
 - 他の人も同じグループ番号を使用している場合があります。
 - グループ番号を変えてください。

正常に動かないとき

スイッチを押しても反応しないときや、「故障かな?と思ったら・・・」の項目に従って点検しても正常に動作しないときは、次の操作を行ってください。

- リセットを行うと、登録した内容はすべて消され、工場出荷時の「初期値」に戻ります。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ② ▲ボタン、▼ボタン、DCS(OM)ボタンを同時に押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③ 「ピッ」と鳴り、オールリセットされます。

定 格

送受信周波数: 01ch~11ch: 422.0500MHz ~ 422.1750MHz (12.5kHz ステップ)	1ch ~ 9ch: 422.2000MHz ~ 422.3000MHz
中継装置使用時:	
12ch~29ch: 送信	440.0250MHz ~ 440.2375MHz
受信	421.5750MHz ~ 421.7875MHz
10ch~18ch: 送信	440.2825MHz ~ 440.3625MHz
受信	421.8125MHz ~ 421.9125MHz

電 波 型 式: F3E

通 信 方 式: シンプレックス方式およびセミデュプレックス方式
送 信 出 力: 10mW/1mW(中継チャンネル 12ch ~ 29ch)以下(電波法施行規則第6条適合)
受 信 感 度: -70dBμV 以下(φ 12dB SINAD)
低 周 波 出 力: 400mW以上(φ 8 Ω、THD10%)電源電圧 3.7V 時
動作温度範囲: -10℃ ~ +50℃
定 格 電 圧: DC 3.7V

動作電圧範囲: DC 2.2V ~ 4.5V
本 体 寸 法: 99.5 × 55 × 30mm(高さ×幅×奥行き: アンテナおよび突起部を含まず)
本 体 重 量: 約 120g(アルカリ単3乾電池を含む)
この定格は性能向上のための予告なく変更することがあります。 ※ RoHS 指令対応

オプション

- リチウムイオン電池パック: BN80
- リチウムイオン電池ケース: JCPLN0002
- シンクル充電器(ACアダプタ付): JCPGN0003
- 6連型充電器(ACアダプタ付): JCPGN0004
- スピーカマイク: J6PMN0001
- プームマイクイヤホン: JSRPN0003
- 小型タイプピンマイク&イヤホン: JSRPN0001
- タイピンマイク&イヤホン(マイク感度切替スイッチ): JSRPN0002

セットメニューで設定する便利な使いかた

PTT(送信ボタン)を押さずに送信する

PTT(送信ボタン)を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。

- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(OM)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ "beep" が表示されるまで、MODE(OM)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、"beep" にあわせます。
 - ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- 設定条件を行う前の状態に戻ります。
- VOXの感度や遅延時間を、セットメニューで細かく設定することができます。詳しくは後述の「セットメニューによる機能設定」をご確認ください。
- VOX機能はPTTホールド機能および自動マイク感度切替機能と同時に利用することはできません。

空きチャンネルを自動で探す

PTT(送信ボタン)を押すと、そのとき空いているチャンネルに設定され(相手のトランシーバーも、自動的に同じチャンネルに設定されます)交信することができます。

- ① 相手のトランシーバーも、同じグループ番号(またはDCSコード)に合わせれば、オートチャンネルでレク機能を"ON"にしてください。
- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ② MODE(OM)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③ "Acce" が表示されるまで、MODE(OM)ボタンを何度か押します。
- ④ ▲または▼ボタンで、"Acce" にあわせます。
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。

チャンネル表示が"AR"になり、自動的にグループモードになります。

この状態でPTT(送信ボタン)を約1.5秒以上押し続けると、相手と交信することができます。

● PTT(送信ボタン)を約1.5秒以上押し続けないと、相手側と交信することはできません。

自動でマイクの感度を切替える

周囲の騒音の状況に応じて、自動的に適切なマイク感度に切替わります。

- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(OM)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ "Acce" が表示されるまで、MODE(OM)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、"Acce" にあわせます。
 - ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- 設定条件を行う前の状態に戻ります。
- VOX機能と同時に利用することはできません。

セットメニューによる機能設定一覧

本機には22種類のセットメニューがあります。
各メニューの設定を変更するときは次の手順で行います。

- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(OM)ボタンを押しながら電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れます。
- セットメニューが表示されます。
- MODE(OM)ボタンを押すたびに、セットメニューが切り替わります。
- 設定したいメニューを選択します。
- ④ ▲または▼ボタンを押して、点滅している設定項目を選択します。
- ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- セットメニューの設定が完了します。
- PTT(送信ボタン)以外に、電源ボタンを長押し(約1秒)して電源を切っても、セットメニューの設定を終了することができます。

ディスプレイ表示	機能説明	実行項目	初期値
GP	グループコード(01~39)の選択 グループコードの番号が表示されます。	01 ~ 39	01
Ph	PTTホールド機能のON/OFF ONにすると、PTT(送信ボタン)を一保持することにより、再度PTT(送信ボタン)を押すまで、送信状態が続きません。 ※ VOX機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
Rc	オートチャンネルレク機能のON/OFF ONにすると、PTT(送信ボタン)を押した時に、誰も使用していないチャンネルを自動で探して、相手側と交信することができます(相手のトランシーバーも、オートチャンネルレク機能をONにしてください)。	OFF/ON	OFF
RL	自動マイク感度切替機能のON/OFF ONにすると、周囲の騒音に応じて、自動的に適切なマイク感度に切り替わります。 ※ VOX機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
EG	外部マイク感度切替機能 オプションの外部マイクを使用する時、マイク感度を自動的に調整することができます。 ※ PTTホールド機能および自動マイク感度切替機能と同時に利用することはできません。	1/2/3	2
OC	VOX機能のON/OFF ONにすると、PTT(送信ボタン)を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。 ※ PTTホールド機能および自動マイク感度切替機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
oL	VOX感度調整 VOX機能動作時、話をやめると受信状態に戻るまでの時間を、0秒(設定値"0")~5秒(設定値"5")の間(設定値の0.1秒間隔)でできます。	1 ~ 15	8
or	VOX遅延時間調整 VOX機能動作時、話をやめると受信状態に戻るまでの時間を、0秒(設定値"0")~5秒(設定値"5")の間(設定値の0.1秒間隔)でできます。	0 ~ 50	5 (30秒間)
ro	受信専用モードのON/OFF システム手帳などに使用するとき、VOX機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
bP	グループのON/OFF ボタンをスイッチを押したとき、通話中に電音音が鳴ります。 この音が鳴らないときはOFFに設定してください。	ON/OFF	ON

送信を禁止して受信専用として使用する

ガイドシステム手帳などに使用するとき、PTT(送信ボタン)を押しても「ブー・・・」と警告音が鳴り、ディスプレイに"Er"と表示されて、送信できないようになります。

- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(OM)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ "roff" が表示されるまで、MODE(OM)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、"roff" にあわせます。
 - ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- 設定条件を行う前の状態に戻ります。
- VOX機能と同時に利用することはできません。

LEDインジケータを点灯しないようにする

送信時に「赤色」、受信受信時に「青色」に点灯するLEDインジケータを、点灯しないようにすることができます。

- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(OM)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ "Lea" が表示されるまで、MODE(OM)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、"Lea" にあわせます。
 - ⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- 設定条件を行う前の状態に戻ります。

チャンネルの表示方法を切替える

チャンネルの表示方法を、下記の2通りから選択することができます。

チャンネル表示方法が異なるトランシーバーと交信する場合、相手のチャンネル表示方法に合わせる必要があります。

- ① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
 - ② MODE(OM)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
 - ③ "On" が表示されるまで、MODE(OM)ボタンを何度か押します。
 - ④ ▲または▼ボタンで、希望の表示方法にあわせます。
- 47に設定: 01 = 02 = 03 = 04 = 05 = ... = 15 = 16 = 17 = 18 = 19 = 20
21に設定: 1 = 2 = 3 = ... = 7 = 8 = 9 = 10 = 11 = 12 = 13 = 14 = 15 = 16 = 17 = 18 = 19 = 20
⑤ PTT(送信ボタン)を押します。
- 設定条件を行う前の状態に戻ります。

ディスプレイ表示	機能説明	実行項目	初期値
tb	送信スピーチのON/OFF ONにすると、送信を始めるときに電子音が鳴ります。 外部マイクでVOX機能を使用するときと、送信状態になったときとを音で確認することができます。	OFF/ON	OFF
ch	チャンネル表示の切替 チャンネルの表示を、01~47の表示(1に設定した場合)、または、1~4、01~11の表示(11に設定した場合)に切替えることができます。	SP/47	SP
LE	LEDインジケータのON/OFF OFFにすると、送信受信にLEDインジケータが点灯しないようになります。	ON/OFF	ON
LP	通話ランプ機能 ONにすると、通話中にランプが点灯し、ボタンを押すと通話ランプが約2秒間点灯します。OFFにすると、通話ランプを点滅消灯することができます。	2/OFF	2
cP	通話ランプ機能 ONにすると、相手が発しているときに点滅する「サー」というバックグランドを発生し、相手の通話を聞き取りやすくします(相手のトランシーバーも、通話ランプ機能をONにしてください)。	OFF/ON	OFF
hC	各音切替機能 ONにすると、音域が調整された音域になります。	OFF/ON	OFF
RP	オートパワーセーブのON/OFF ONにすると、2秒間何も操作しないときと電圧の切り下がりを感知し、自動的に電源をOFFにします。1分間に「ピッ」と警告音が鳴り、電源が切れます。	OFF/ON	OFF
cl	コール音切替機能 コール音で呼び出しできる「コールトーン機能」が動作する。コール音が鳴る回数を選択することができます。 1~5のうちの1つの数字を番号の数字で送ります。送信時にMODE(OM)ボタンを押したとき、コール音を選択した回数発することになります。通話は"1"に設定されています。	1 ~ 5	1
Po	PTTダイヤリ機能のON/OFF(グループモード) 相手の話が切れる時、待ち受け状態になるときに聞こえる「ザー」という音の周波数のノイズをカットして送ります(相手のトランシーバーも、PTTダイヤリ機能をONにしてください)。	ON/OFF	ON
Ec	エマージェンシー機能のON/OFF エマージェンシーモードに設定すると、エマージェンシーモードの通話(3分)に自動的に切り替わります。	1/2	1
dP	中継機使用時の送受信の切り換え 中継機に接続する。12ch~29chにあわせると、送信出力(アンテナ)から出力される電圧の値を切り替えることができます。 "1": 送信出力が1mWに設定され、中継機使用時に3分以上の連続送信が可能なようになります。 "10": 送信出力が10mWに設定され、連続して送信できる時間は3分以内になります。	1/10	10
cb	コールバック機能のON/OFF ONにすると、通話できる範囲にいるか、または電源を切っていないか、通話ランプが点滅します。	OFF/ON	OFF

